

むすびめ通信

Musubime works for the better society

Bible:エペソ人への手紙4:16



湯本沙友里 ニュースレター

Vol.016 2023年4月発行



Dream to Shine free schooling project ～輝く夢学校～



いつもエチオピア活動を応援、ご支援くださり感謝いたします。私たちのフリースクールはアカコ村の地域の方々にも知られ、子どもたちが40名ほど通うようになっていきます。地域の人々はスタッフの献身的かつ忍耐強い取り組みを見て、次第に働きを信頼してくれるようになりました。私(湯本)は、今年6月～8月上旬にエチオピアへ渡航して活動する計画を立てています。今回はボランティアとして日本から学生1名、シンガポールから医師の友人が1名合流し、それぞれ2週間ほど活動に同行してくれます。学校の子どもたちや現地の様子を皆さんにお届けいたしますので楽しみにしてください。

筆記用具など学習用品の寄付を募集しています

一点お願いがございます。生徒数が増えたことで、授業で使用する筆記用具や絵画道具(絵具や筆、色鉛筆、クレヨン)、ノートなどの備品を必要としており、寄付を募集しております。いづれも未使用が好ましいですが、汚れがないなど十分使用できる状態のものであれば鉛筆1本も尊い助けとなります。ご協力いただける方がいらっしゃいましたら、日本での郵送先をお知らせしますので、裏面に記載されている私の連絡先までご一報いただけますと幸いです。(送料はご負担をお願いしております)。お預かりした備品は湯本がエチオピアの子どもたちにお届けし、写真と一緒にご報告いたします。

今回も現地スタッフのデレジェから届いているレポート内容をご紹介します。

報告者: デレジェ・ギルマ(Dereje Girma)
DTSプロジェクトマネージャー/教師
エチオピア、オロミヤ州



プロジェクトはまもなく設立2周年の節目を迎えようとしています(通常クラスを行う学校自体は移転してから1周年を迎えます)。良質な教育へのアクセスが困難な地域の子どもたちに、私たちのフリースクールは大きな利益をもたらしてあげることができました。

また、地域の親たちにも「教育がいかに重要か」ということ意識変革を起こすことができました。また、補講クラスのなかでは生徒たちが必要な学習のための用具や教材も提供してきました。芸術クラスでは、多くの生徒たちが気付かなかった自分たちの才能を見つけはじめました。

追加予算の必要性

3月からクラスを増やしました。

DTS プロジェクトは実り多い活動を展開してきました。アカコ村の生徒たちにとって、このプロジェクトは変革と良い影響をもたらしてきました。しかし実のところ、資金繰りはいつも大変でした。予算が不足した結果、ひとりのスタッフの負担は相当なものになってしまっていました。この状況を理解し、リーダーや支援者の皆様がプロジェクト継続のための追加予算に同意してくださっていることに感謝いたします。それによって今年の3月からは、さらに2人のスタッフ(教師ひとりと清掃員ひとり)を加えることが出来ました。それ以前は全年齢が同じクラスに集められており授業が困難だったのですが、追加予算により年齢ごとにクラス分けをすることが出来、クラスをより効果的に運営できるようになりました。当初20人そこそこの人数だったのが、今はひとクラスに40人の生徒たちを教室に入れることができるようにまで学校は成長しました。放課後学校に加え様々なイベントにより、地域の人々との交流も深まり、信頼関係が生まれてきています。



私たちの村は大きくありませんので、村人からよく知られるようになるのに時間はかかりませんでした。働きを展開するにつれ、次第に村人たちみんなに知られるようになり、様々な年齢の方々と良好な関係を築くことができています。地域社会を発展させるための奉仕活動に携わってきた私を見て、地域の人々は私のことを深く信頼してくれています。私は村の伝統的な相互扶助組合や、地域の教会の責任ある立場を任されるようにまでなりました。

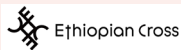
また、彼らと屋内・屋外の様々なゲームやスポーツをすることで村の若者たちとも時間を過ごすことで関係が構築されていっています。

幼稚園で働いている私は、子どもたちに関わることを心から楽しんでいます。プロジェクトでは様々な年齢の子どもたちや若者たちと関わります。DTSプロジェクトの間も、それ以外の時間でも、私は子どもたちと良好な関係を築くことができている、弟や妹のように感じています。DTSの間は教師として接しますが、一緒に過ごすときはいつでも面倒を見て、兄弟や友だちのように一緒に遊びます。小さい子たちに勉強ができたご褒美としてキャンディやビスケットを買ってあげることもあります。彼らは私のことをとても慕ってくれ、尊敬もしてくれています。遠くから私を見つけたときも、駆け寄って挨拶をしにきて、自分の夢や希望を聞かせてくれます。

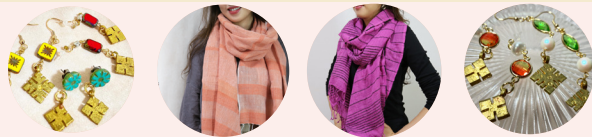


そんな彼らの愛によって、私は辛いときでも前に進むことができています。子どもたちの思考を解き放ち、授業が極力楽しくなるように試行錯誤するのは楽しいものでした。学校の試験週間になると、子どもたちはもっと詳しい解説を聞くために私たちに苦手科目の問題を質問してきます。私の願いは子どもたちが良い教育を受け健全に生育することです。彼らがより良い未来を生きることが出来るように、私は日々葛藤しながらプロジェクトに取り組んでいます。

新商品が
エチオピアから
届きました



オンライン・ショップ
<https://ethiopia.handcrafted.jp/>



支援につながるエチオピアコーヒー販売中です!【5月末まで】

シングルオリジンのゲデボゴチ農園(エチオピア)のナチュラル精選豆を使っています。フレッシュな赤ワインやカシスの華やかで濃厚な味わい、杏子を思わせる甘い余韻を楽しめるコーヒーです。

コーヒーの詳細・お申込は「食料デー登別」で検索! または以下の問い合わせ先まで、ご連絡ください。
【世界食料デー登別大会実行委員会事務局】
090-3893-9630 / to201203@yd.so-net.ne.jp



連絡先

湯本 沙友里 Sayuri Yumoto

NGO「声なき者の友」の輪 所属
むすびめワークス 代表

Email: sayuri@karashi.net

WEB: <https://www.musubime-works.com/>
ホームページからも活動報告をご覧いただけます。



4月5月のイベント出展情報(東海地方)
★入場自由 ぜひお越しください★

●一宮 Re-tail 「パリ 18 区からのアフリカ物語」

4月19日(水)～23日10:00-16:00

場所: Re-tail 愛知県一宮市栄4丁目5-11 1階

●エシカルマルシェ in とよた

5月3日(水・祝) 11:00-15:00

場所: 新とよパーク 愛知県豊田市喜多町2丁目101

●東山動植物園 春祭り

5月5日(金・祝)6日(土)10:00-16:00

場所: 東山動植物園内の上池門から入って目の前
(園への入場料がかかります)

●第13回世界フェアトレード・デー・なごや

5月27日(土) 10:00-18:00

場所: ヒサヤオオドリパーク シバフヒロバ

イベント出店を通して、エチオピアの特産物や伝統品などを使ったアクセサリーやストールを販売することで、支援を充実させています。ストールは、エチオピア産のオーガニックコットンを使って、一枚一枚丁寧に手織りされたものです。ストリートチルドレンを生み出さないための取り組みや、売春をせざるを得ない女性達の自立支援にも繋がっている商品です。

オンラインショップからもご覧いただけます。

DTS スクール学習用具寄付の連絡先

sayuri@karashi.net 湯本まで。
日本の届け先住所をご連絡します。

支援のための寄付方法

支援をもってご協力くださる方はお手数ですが下記の口座にお振込みください。報告はニューズレターにて随時お知らせしますので、配信ご希望の方はご連絡ください。

①ゆうちょ振替口座

口座番号: 00830-9-137685

名義: 湯本沙友里

他行等から 店名: ○八九店 当座 0137685

②ゆうちょ振替口座

口座番号: 00180-0-300201

名義: FVI

★通信欄に「湯本 エチオピア指定」とご記入ください。

支援金はどちらの口座も同様に活動に関わる経費に充てられます。支援者の方へは年度ごとの会計報告をお送りしていますので、ご確認ください。

FVI名義の口座では湯本が所属する非営利団体「声なき者の友」の輪の税理士より監査を受けて年次報告いたします。